



2022年8月15日

各位

会社名 株式会社クレステック  
代表者名 代表取締役社長 高林 彰  
(コード：7812 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役執行役員管理部長 三輪 雅人  
(TEL. 053-435-3553)

### 営業外収益及び特別損失の計上、 並びに個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2022年6月期連結決算において営業外収益、個別決算において営業外収益及び特別損失を計上するとともに、2022年6月期の個別業績と前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 営業外収益（為替差益）の計上

(連結決算)

当社は、連結決算において、為替差益181百万円を営業外収益に計上しました。これは、主として当社及び海外子会社の外貨建債権の決済、換算替えにより発生した評価益になります。

(個別決算)

当社は、個別決算において、為替差益126百万円を営業外収益に計上しました。これは、主として海外子会社に対する外貨建債権の決済、換算替えにより発生した評価益になります。

なお、当該収益につきましては、連結財務諸表上では営業外収益の為替差益に含まれております。

#### 2. 特別損失（投資損失引当金繰入額）の計上

(個別決算)

当社は、個別決算において、当社が保有するCRESTEC PRINTING (DONGGUAN) LIMITED. の出資金について投資損失引当金繰入額127百万円を計上いたしました。2022年6月24日付「連結子会社の事業内容変更に伴う特別損失の計上に関するお知らせ」のとおり、同社の事業内容変更に伴い特別損失を計上した結果、純資産基準額が引き下がることによって発生したものであります。

なお、当該損失につきましては、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

#### 3. 特別損失（関係会社出資金評価損）の計上

(個別決算)

当社は、個別決算において、関係会社出資金評価損15百万円を計上いたしました。これはCRESTEC INFORMATION TECHNOLOGY (SHENZHEN) LIMITED. の出資金について実質価額が著しく低下したことにより発生したものであります。

なお、当該損失につきましては、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

4. 2022年6月期通期個別業績と前期実績値との差異（2021年7月1日～2022年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績（A）	百万円 4,447	百万円 369	百万円 338	百万円 25	円 銭 8円36銭
当期実績（B）	4,344	255	336	123	40円21銭
増減額（B－A）	△103	△113	△1	98	
増減率（％）	△2.3%	△30.8%	△0.4%	383.9%	

（差異の理由について）

売上高については、全体的に多くの顧客との取引は回復傾向にありましたが、顧客全般に部材不足による製品の納期遅延が発生し、新モデルの開発や販売にまで影響が及び減収となりました。営業利益については、売上高の減少に加えて、年金資産の減少に伴う退職給付費用の増加などにより前期実績に比べ減少しております。一方で、経常利益については、円安の影響による外貨建て資産の換算による為替差益が発生しております。当期純利益につきましては、投資損失引当金繰入額などの特別損失の発生はあったものの、前期における特別損失の発生額より減少した結果、前年実績に比べ増加しております。

以 上